

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2023年(令和5年)8月25日号 No.1933

目次

■ 2022年のトルコとロシアの貿易の総括と展望	齋藤 大輔 1
■ 『ロシアNIS調査月報』2023年9-10月号のご案内	7
■ 統計速報	8
2023年1～7月のロシアのブランド別乗用車販売台数/8	
■ トピックス	8
日本、対ロ制裁を強化/8	
アフトヴァズ、日系自動車部品工場を買収/9	
米国、ロシア産業家企業家同盟を制裁対象に追加/9	
ユニクロ、ロシアでのビジネスを完全停止/9	
ロシア政府、日本からの水産物への検査体制強化へ/9	

2022年のトルコとロシアの貿易の総括と展望

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所
部長 齋藤 大輔

はじめに

トルコは、ロシアによるウクライナへの侵攻が続く中、和平の仲介役を買って出るなど、独自の外交を展開。西側諸国によるロシアへの経済制裁に加わらず、欧米諸国とは一線を画す一方、ロシアとは友好的な関係を維持している。欧米とロシアの対立が深まる中、トルコが制裁で輸出先を失った資源や商品の新たな消費先や中継拠点となり、ロシアとの経済的な結び付きを深めている。2022年のトルコとロシアの貿易を振り返るとともに、今後を展望してみたい。

1. エネルギー輸入増で過去最高

昨年1年間のロシアとトルコの貿易額は過去最高を更新した。トルコ統計委員会が発表した貿易データを見ると、昨年1年間、ロシアとトルコの貿易額は650億ドルとなった。これは、2021年を2倍も上回り、これまで最高だった14年前の378億ドルを超え最高を更新した。

トルコとロシアの貿易額は、2012年から2014年にかけて300億ドルを突破したが、この10年間は200億ドル前後で推移してきた。2021年には7年ぶりに300億ドルを突破した。2022年には、原油やガスなどのエネルギーの輸入が急拡大し、価格の高騰もあって、貿易額は、これまでになかった大幅な増加となった。